

**伴侶動物学詳論** (2 単位)

担当者氏名 土田あさみ、増田宏司

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

人とともに生活する伴侶動物について、そのよりよき共生や活用を図ることは重要である。そこで本科目ではその基礎となるイヌ、ネコを中心とした遺伝、行動、飼養管理、衛生管理などの関連研究分野の知識について、最近の関連研究の進展等科学的検証に基づいた授業を実施し、伴侶動物の行動管理やよりよき共生関係の構築力涵養に役立てることを目標とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

伴侶動物                      動物遺伝                      動物行動                      動物管理衛生

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の 内容と分量
1	概論	動物の伴侶動物としての可能性について	(1~5 回) 種々動物の伴侶動物としての可能性と行動特性や、訓練法との関連を理解する。(6~8 回) 伴侶動物の遺伝的特性と関連研究について理解する。(9~15 回) 伴侶動物の飼養管理手法を振り返り、衛生学との関連を理解する。内容欄(左欄)のキーワードについて事前学習を行い、質問を整理し、授業に臨んだ上で事後学習に役立てること。
2	伴侶動物の行動(1)	伴侶動物の行動特性	
3	伴侶動物の行動(2)	伴侶動物の個体認知	
4	伴侶動物の行動(3)	犬および猫の問題行動と治療	
5	伴侶動物の行動(4)	伴侶動物の行動研究法	
6	伴侶動物の遺伝(1)	動物のゲノム解析研究	
7	伴侶動物の遺伝(2)	DNA多型の検出と利用	
8	伴侶動物の遺伝(3)	伴侶動物の行動遺伝学	
9	伴侶動物の飼養管理(1)	伴侶動物の飼養技術	
10	伴侶動物の飼養管理(2)	伴侶動物の健康管理 1	
11	伴侶動物の飼養管理(3)	伴侶動物の健康管理 2	
12	伴侶動物の衛生管理(1)	衛生学 1	
13	伴侶動物の衛生管理(2)	衛生学 2	
14	伴侶動物の衛生管理(3)	衛生管理 1	
15	伴侶動物の衛生管理(4)	衛生管理 2	

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

適宜資料を配布する。

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

バイオセラピー学入門(講談社)ほか、授業の中で提示する。

## ◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートの提出と授業中の質問内容により理解度を評価する。

## ◆オフィスアワー

火曜日 16:30~17:30(土田)、木曜日 15:00~16:00(増田)、研究室にて質問等を受け付ける。

## ◆その他受講上の注意事項

オフィスアワー以外の曜日・時間に質問がある場合は、事前に連絡すること。